

# 第2章

魅力ある人材が育ち、  
地域に愛着と誇りを持てるまちづくり

## 政策目標3 心豊かな人材を育むまち



### 政策分野1 歴史・文化・芸術

施策目標1 歴史・文化・芸術が継承され、活かされている …… 50

### 政策分野2 学校教育

施策目標1 夢と志を抱き、グローバル社会を生き抜く人材が育っている … 52

施策目標2 学校施設が整備されている …… 54

### 政策分野3 生涯学習

施策目標1 いつでも学べる環境が整っている …… 56

施策目標2 学校・家庭・地域の連携により子どもたちが健やかに成長している … 58

施策目標3 スポーツを楽しんでいる …… 60

## 政策目標4 人と地域が支え合うまち



### 政策分野1 協働

施策目標1 協働のまちづくりの意識が定着している …… 62

施策目標2 地域でまちづくりを行う仕組みが形成されている …… 64

### 政策分野2 人権

施策目標1 人権が尊重されている …… 66

施策目標2 男女がともに認め合い、支え合う社会が実現している …… 68

政策分野 1  
歴史・文化  
・芸術

施策目標

1

# 歴史・文化・芸術が継承され、活かされている

## 現状と課題

本市では、古くから瀬戸内の要衝として経済的な発展を遂げる中、令和元年（2019年）には尾道港開港850年を迎えました。また、この間、優れた芸術・文化を生み出し継承してきた取組が認められ、全国最多3つの日本遺産※に認定されています。

文化活動の継承にあたっては、市技「囲碁」の普及・発展を図る囲碁のまちづくり事業のように、それぞれの文化の魅力を高める活動を子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に充実させることが必要です。

また、浄土寺多宝塔や向上寺三重塔など4件の国宝、54件の重要文化財、35件の登録文化財など、数多くの文化財を計画的に保存・活用するとともに、日本遺産に認定されたことを活かし、歴史・文化資源を活用した観光の振興や、文化財愛護精神の育成に取り組んでいます。

芸術・文化の振興については、主体的な市民活動を支援するとともに、誰もが芸術・文化活動に参加できるよう、尾道市美術館ネットワーク※を活用した鑑賞機会の提供など、芸術・文化に触れ親しむ機会の創出が求められています。

また、芸術・文化活動や鑑賞の場となる施設については、老朽化に対応する維持・更新等の整備に加えて、デジタル技術を取り入れた新たな芸術・文化を創造するためのICT※インフラの整備が必要です。

## 基本方針

- 芸術・文化活動の充実を図るため、芸術・文化に触れる機会の創出や主体的に活動できる環境づくりを推進します。
- 全国に誇れる囲碁のまちとしての魅力を高めるため、市技「囲碁」の普及活動を推進します。
- 歴史と文化を継承するため、文化財保存活用事業を推進するとともに、市民の文化財愛護精神を育成します。
- 市民や観光客等に充実した鑑賞機会を提供するため、市内美術館、博物館等関係団体との連携強化を図ります。
- デジタル技術を活用した新たな芸術・文化を創造するため、ICTインフラの整備による拠点性の向上を図ります。



本因坊秀策杯決勝

## 施策

### 施策目標 1 歴史・文化・芸術が継承され、活かされている

指標名	単位	基準値（令和2年度）	目標値（令和8年度）
市民満足度調査「市民活動を通じて豊かな芸術・文化が継承・創造されている」と感じる市民の割合	%	46.6 (令和3年度)	50.0

#### 目標達成のための施策

#### ① 歴史・文化資源の継承

市民やまちづくりに取り組む団体等と連携しながら、市内に残る歴史・文化資源の継承を促進します。

- ◆ 囲碁のまちづくり推進事業 
- ◆ まちなか文化交流施設整備事業  など

指標名	単位	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
囲碁に親しんでいる市民の割合	%	6.3 【8.5(令和元年度)】	8.0

#### ② 文化財愛護精神の育成

市内に多く存在する寺社など、文化財の保存・活用をしながら、文化財を愛護する精神の育成・醸成を促進します。

- ◆ 国宝・重要文化財保存事業 
- ◆ 市史編さん\*事業 
- ◆ 日本遺産\*推進事業(再掲)  など

指標名	単位	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
登録文化財数	件	35	40

#### ③ 芸術・文化活動の充実

市民の音楽、絵画、舞踊等の芸術・文化活動、子どもの芸術・文化体験の充実を推進します。

- ◆ 市内美術館連携強化事業 
- ◆ 絵のまち尾道四季展開催事業 
- ◆ 高校生絵のまち尾道四季展開催事業 
- ◆ 尾道マンガ大賞展開催事業 
- ◆ 市民音楽芸能祭開催事業 など

指標名	単位	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
市民満足度調査「芸術・文化にふれ親しむことができる」と感じる市民の割合	%	44.2 (令和3年度)	50.0

#### ④ 芸術・文化施設の整備

多様化する芸術・文化施設に関するニーズに対応するため、市内の既存施設を維持・更新するとともに、ICT\*インフラの整備による拠点性の向上を図ります。

- ◆ しまなみ交流館整備事業(再掲)
- ◆ 瀬戸田市民会館整備事業(再掲) など

指標名	単位	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
公演入場率（1公演平均）	%	91.3 【61.2(令和元年度)】	80.0

政策分野 2  
学校教育

施策目標

1

## 夢と志を抱き、グローバル社会を 生き抜く人材が育っている

### 現状と課題

社会・経済のグローバル化の進展によって、子どもを取り巻く環境が変化中、本市では、就学前教育から高等教育まで、誰もが教育を受けることができる環境づくりを進めています。小・中高等学校における ALT\* を活用した英語教育や台湾等との国際交流を通じた人材育成など、グローバル社会に適応できる資質・能力を持つ子どもの育成に向けた一層の取組が求められています。

本市においては、平成 30 年度（2018 年度）に策定した「尾道ゆめプラン」のもと、就学前教育と学校教育との円滑な接続による「尾道 15 年教育\*」を進めるとともに、平成 29 年度（2017 年度）に「夢と志を抱きグローバル社会を生き抜く子どもの育成」を施策の柱とした「尾道教育みらいプラン2」を策定し、「確かな学力」の向上、「豊かな心」の育成、「健やかな体」の育成、「信頼される学校づくり」に取り組んでいますが、各種学力調査の結果にみられる基礎的な知識・技能の定着や、児童生徒の不登校が課題となっています。

今後、学校教育を通じて、尾道への郷土愛を醸成するとともに、変化の激しい社会においても、自立して、社会に貢献できる人材を育成していくために、知・徳・体のバランスのとれた教育活動や、「主体的・対話的で深い学び」を促す教育活動の実現に向け、GIGA スクール構想\* に基づくタブレット端末等を活用する環境を整備するなど、今日的課題を解決していくことのできる資質・能力を育む、質の高い事業展開が必要です。

さらに、学校の自主性・自律性を確立するとともに、中学校区が一体となったコミュニティ・スクール\* の導入を進め、地域に開かれ信頼される学校づくりを実現していく必要があります。また、教育環境を充実させるため、児童生徒数の増減等を注視しながら、学校の在り方の検討や、学校における働き方改革\* の推進が必要です。

### 基本方針

- 夢と志を抱き、グローバル社会を生き抜く子どもを育成するため、「確かな学力」の向上、「豊かな心」の育成、「健やかな体」の育成を促進します。
- 教育の質の保証と向上を図るため、学校の自主性・自律性を確立し、地域に開かれ信頼される学校づくりや、教育環境の充実を推進します。



タブレット端末を使った授業



体育の授業の様子

## 施策

### 施策目標 1 夢と志を抱き、グローバル社会を生き抜く人材が育っている

指標名	単位	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
市民満足度調査「子どもたちに確かな学力と豊かな人間性が身についている」と感じる市民の割合	%	48.5 (令和3年度)	55.0

#### 目標達成のための施策

### 1 「確かな学力」の向上

グローバル社会に適応できる力をつけるため、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力を育成するとともに学びに向かう力や人間性の涵養<sup>\*</sup>を図ります。また、子どもたちに育成すべき資質・能力を総合的に育むため、タブレット端末等を活用するなど、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を進めます。

- ◆ 尾道版『学びの変革』推進事業 
- ◆ 外国語教育を充実する事業 
- ◆ 特別支援教育推進事業 
- ◆ ICT<sup>\*</sup>活用推進事業 など

指標名	単位	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
全国学力・学習状況調査(小6・中3)正答率が全国平均以上の学校割合	%	小学校：75.0 中学校：46.7 (令和3年度)	小学校：80.0 中学校：80.0

### 2 「豊かな心」の育成

郷土を愛し、地域に貢献しようとする態度や、自己肯定感・自己指導能力を向上させるため、「ふるさと学習」や「地域貢献活動」を推進します。また、道徳教育の充実を図り、生命尊重、豊かな心、伝統・文化の尊重、郷土愛等を育成します。

- ◆ ふるさと学習推進事業 
- ◆ 道徳性を育成する事業 
- ◆ いじめ・問題行動をなくすための取組  など

指標名	単位	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
広島県児童生徒学習意識等調査「自分の住んでいる地域が好き」と答える児童生徒の割合	%	小学校：85.5 中学校：79.9 (令和3年度)	小学校：100 中学校：100

### 3 「健やかな体」の育成

体力・運動能力の向上に取り組むことを通して、生涯を通じて健康で活力ある生活を送ろうとする意識の向上を推進します。

- ◆ 体力向上対策事業 
- ◆ 食育<sup>\*</sup>・健康教育を充実する取組  など

指標名	単位	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
広島県児童生徒体力・運動能力、運動習慣等調査「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好き」と答える児童生徒の割合	%	小学校：91.2 中学校：85.3 (令和3年度)	小学校：93.0 中学校：90.0

### 4 信頼される学校づくり

教職員の資質・能力の向上を図り、教育環境の充実を推進します。また、主体的で創意工夫のある教育活動の展開を図り、地域に開かれ信頼される学校づくりを行います。

- ◆ 学校評価、カリキュラム・マネジメント<sup>\*</sup>の充実を図る取組 
- ◆ 特色ある学校づくり推進事業   
(中学校区で一体となったコミュニティ・スクール<sup>\*</sup>の導入) など

指標名	単位	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
市民満足度調査「信頼される学校づくりが進んでいる」と感じる市民の割合	%	44.3 (令和3年度)	50.0

政策分野 2

学校教育

施策目標

2

## 学校施設が整備されている

### 現状と課題

学校施設は、児童生徒等が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、生きる力を育むための教育環境として重要となっています。また、災害時には地域住民の緊急避難場所としての機能も有しており、その安全性の確保は極めて重要です。このため、非構造部材等の耐震対策や老朽化が進んでいる学校施設の安全面・衛生面・機能面等に配慮した改修を実施するなど、快適な教育環境の確保に努めています。

しかしながら、建築後 30 年を経過した建物の延床面積は 73% を占めており、不具合による早期の改修を必要とする施設も多く、また、時代に適応した質の高い教育を提供するために必要なインフラの維持・向上に取り組んで行く必要があります。

今後も引き続き、耐震対策、老朽化が進んだ建物の長寿命化対策など、状況の変化を見極めながら対応する必要があります。

学校給食は、衛生管理の徹底を図るため、学校給食衛生管理基準<sup>\*</sup>に適合したドライシステム<sup>\*</sup>による給食施設での給食提供が必要です。また、一部の中学校では、希望者が申込をする選択方式の給食を実施していますが、市内全中学校で、全員給食の実施が必要であるとともに、老朽化も進んだ施設が多いことから、令和 2 年度（2020 年度）に策定した「尾道市学校給食施設整備計画」に基づき計画的に施設整備を行い、衛生管理基準に適合した安全・安心な給食を、児童生徒全員に提供していく必要があります。

また、大学施設においては、老朽化に伴う計画的改修が必要です。就学前教育施設においても、教育と保育を一体的に行う施設である認定こども園<sup>\*</sup>の整備等が必要です。

### 基本方針

- 幼稚園児、児童生徒等の安全・安心で快適な教育環境を確保するとともに、質の高い教育環境を提供するため、学校施設の安全対策を優先しながら学校施設の大規模改修・長寿命化改修を推進します。
- 子どもたちの心身の健全な育成、望ましい食習慣の形成を図るため、中学校の全員給食を目指した施設整備を推進します。

## 施策

### 施策目標 2 学校施設が整備されている

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
中学校全員給食実施率	%	31.3	100

#### 目標達成のための施策

##### ① 学校施設の整備

児童生徒等が一日の大半を過ごす学習・生活の場である学校施設の特別教室等へのエアコン設備の設置、老朽化した学校施設を大規模改修するなど、施設整備を推進します。

##### ◆ 小中学校特別教室空調設備整備事業 など

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
特別教室空調設備設置率	%	37.5	60.0



西藤小学校増築工事 完成イメージ

## 現状と課題

市民一人ひとりが、生きがいのある充実した生活を送るために、「いつでも」、「どこでも」、「誰でも」自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される「生涯学習社会」の実現に向けた取組が、今後ますます重要となります。本市では、ライフステージに応じた学びや交流等の機会を充実させるため、公民館や美術館、図書館等で多様な学習プログラムの充実や、利用拡大に向けた取組を進めており、多くの市民が参加しています。

また、尾道市立大学においても、大学施設及び知的資源を活用し、市民公開講座、発表会、講演会等を開催することにより市民交流の促進、生涯学習の充実を図るとともに、教育・研究・地域貢献を通して、まちづくりに資する人材育成に取り組んでいます。今後も、情報リテラシー\*の向上や電子メディアの活用を図りながら、多岐にわたる市民の学習ニーズに対応した各種講座や講演会等を実施していくなど、生涯学習機会の充実を図るとともに、主体的な学びの創造を目指す必要があります。

## 基本方針

- 市民一人ひとりが、生きがいのある充実した生活を送るため、生涯にわたり学べる環境づくりを推進します。
- 情報リテラシーの向上や電子メディアの活用を図りながら、幅広い世代に様々な学習機会が提供できるよう努めます。



おのまち市民大学講座・家庭教育講座「小学生のための星空観察会」

## 施策

### 施策目標 1 いつでも学べる環境が整っている

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
市民満足度調査「利用しやすい生涯学習施設が整備されている」と感じる市民の割合	%	46.4 (令和3年度)	50.0

#### 目標達成のための施策

#### ① 生涯学習の推進

市民が「いつでも」、「どこでも」、「誰でも」学ぶことができ、学びを通じて得た成果がまちづくり・人づくりにつながる生涯学習を推進します。

- ◆ まちづくりをテーマとしたおのみち市民大学講座の開催事業 尾道オリジナル
- ◆ 尾道市立大学が主催する公開講座 尾道オリジナル
- ◆ 公民館自主サークル活動支援事業
- ◆ 定例主催講座・単発講座開催事業 など

指標名	単位	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
公民館自主サークル活動者数	人	156,867 【223,262(令和元年度)】	220,000



図書館「青空おはなし会」

政策分野 3  
生涯学習

施策目標

2

## 学校・家庭・地域の連携により 子どもたちが健やかに成長している

### 現状と課題

社会情勢の変化や生活様式の多様化を背景に、子育て環境や子どもたちを取り巻く状況は急激に変化しており、保護者の子育てに関する負担感・不安感の増加や、子ども同士のいじめや不登校、人との関わりの希薄化による社会性や規範意識\*の欠如など、様々な問題が発生しています。

また、携帯電話、スマートフォン等の電子メディアやインターネットの普及は、生活にもたらす恩恵が非常に大きい一方、これらを使いこなせる人と使いこなせない人との間に生じる格差（デジタルデバイド）、ネット犯罪、情報流出等の新たな課題も指摘されています。過剰に情報を提供される社会において、子どもや青少年の心身、行動への悪影響も懸念されており、情報リテラシー\*を周知し、正しく安全な利用環境づくりを進めることが重要です。

こうした課題を解決するためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を自覚し、一体となって子どもたちを育む必要があります。

### 基本方針

- 未来を担う子どもたちの健やかな成長・発達を促すため、関係機関と連携しながら、保護者の子育てに関する負担感・不安感の軽減と子どもの成長段階に応じた家庭教育の充実のための子育て情報の提供ができるよう学習機会を提供します。



家庭教育講座「親の力」をまなびあう学習プログラム

## 施策

### 施策目標 2 学校・家庭・地域の連携により子どもたちが健やかに成長している

指標名	単位	基準値（令和2年度）	目標値（令和8年度）
放課後子供教室参加児童数	人	7,314 【24,901（令和元年度）】	25,500

#### 目標達成のための施策

##### ① 学校・家庭・地域の連携

地域全体の教育力の向上を図るため、学校・家庭・地域の連携を強化し、青少年や子どもたちの健全育成に取り組めます。

- ◆ 放課後子供教室推進事業
- ◆ 家庭教育支援事業 など

指標名	単位	基準値（令和2年度）	目標値（令和8年度）
放課後子供教室参加児童数	人	7,314 【24,901（令和元年度）】	25,500



放課後子供教室「七夕飾り」

政策分野 3

生涯学習

施策目標

3

## スポーツを楽しんでいる

### 現状と課題

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進のため、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で、不可欠なものです。また、スポーツを行うことで生まれる、人と人との交流、地域と地域との交流は、地域の一体感や活力を醸成します。本市においても、健康に対する市民の関心が高まる中、生涯にわたってスポーツを楽しめる取組が求められており、幼少時代からスポーツに親しむ機会の創出によるスポーツ人口の増加、他都市とのスポーツ交流、トップアスリートの育成等に取り組んでいます。

このことから、本市では、「尾道市スポーツ推進計画」を策定し、3つの視点「する」、「観る」、「支える（育てる）」に加えて、「健康」の視点にも留意しながら、多面的なスポーツ施策の取組を進めています。年齢や性別等に関わらず、広く市民がその適性等に応じて「いつでも」、「どこでも」、「誰でも」スポーツを楽しむことができる環境づくりを進め、市民の健康寿命\*の延伸と人生100年時代\*の実現を目指します。

今後も、生涯スポーツやスポーツ・ツーリズム\*の振興に努め、多様なスポーツ競技の体験プログラムの創出に取り組みます。特に、本市の特徴である海の魅力を活かしたマリンアクティビティ\*やサイクリングなど、楽しみながら運動できる機会の提供や環境づくりに努めます。さらに、オリンピック・パラリンピックの開催を一過性のものとしないうるためにも、ホストタウン相手国\*との交流も継続します。

### 基本方針

- 市民一人ひとりが生涯にわたって「いつでも」、「どこでも」、「誰でも」スポーツを楽しむことができるよう、スポーツ環境の整備を推進します。
- 心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進のため、運動による健康づくりの充実を図ります。



ボッチャ教室

## 施 策

## 施策目標 3 スポーツを楽しんでいる

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
市民スポーツ大会及び生涯スポーツ教室等の参加者数	人	1,493 【6,554(令和元年度)】	8,000

## 目標達成のための施策

## ① スポーツ環境の充実

市民一人ひとりが気軽に生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境づくりを推進するとともに、競技スポーツの向上やスポーツを通じた交流を促進します。

- ◆ 学校施設(旧学校施設を含む)開放事業
- ◆ ニュースポーツ※等の普及事業 など

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
市内スポーツ施設利用者数	人	1,007,043 【1,307,529(令和元年度)】	1,500,000

## ② 運動による健康づくりの充実

日常的に身体を動かす市民を増やし、生活習慣病予防等に努め、健康づくりの充実を推進します。

- ◆ 尾道健幸スタイル事業 
- ◆ 幸齢ウォーキング推進事業  など

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
プラス10分てくてく運動参加者数	人	1,913 【2,547(令和元年度)】	2,800



メキシコ代表選手団によるソフトボール教室

政策分野 1

協働

施策目標

1

## 協働のまちづくりの意識が定着している

### 現状と課題

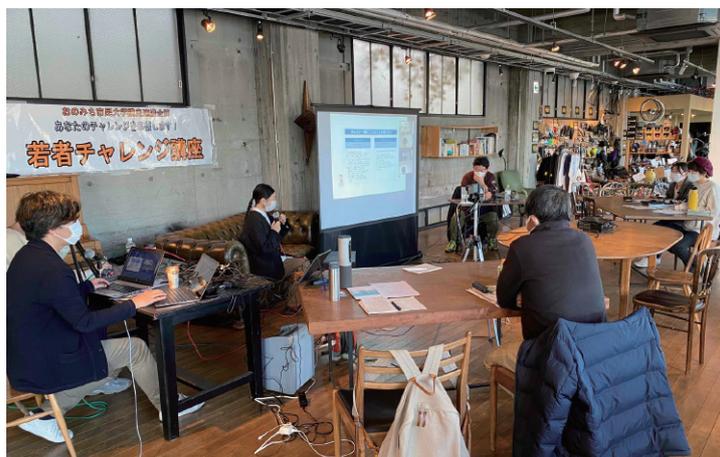
地域社会の様々な課題に対応していくため、市民一人ひとりが主役となる協働\*のまちづくりに取り組んでいることから、行政への市民参加や官民協働に対する市民の関心は高まっています。

一方、社会環境の変化による地域課題の多様化・複雑化やまちづくり団体の担い手不足など、協働のまちづくりの意識を定着させるにあたって、解決すべき課題も依然として多く存在しています。

このため、ホームページや SNS\*等の ICT\*を有効活用した効果的な市政情報の発信や、双方向のコミュニケーションによる市民活動に関する情報の共有によって、新たな課題の解決につなげていく必要があります。また、まちづくりの担い手となる人材育成や、まちづくり活動への支援等に引き続き取り組んでいく必要があります。

### 基本方針

- 市民への市政情報発信やまちづくりに関する情報共有の機会の充実を図ります。
- まちづくり活動の担い手の育成を推進します。
- 自主的に課題解決に取り組む団体の活動を支援します。



若者チャレンジ講座

## 施策

### 施策目標 1 協働のまちづくりの意識が定着している

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
市民満足度調査「まちづくり活動や行政への市民参加が進んでいる」と感じる市民の割合	%	35.4 (令和3年度)	40.0

#### 目標達成のための施策

#### ① 市政情報発信の充実等

市政情報を市民が身近に感じられるよう、広報のみちやホームページをより読みやすく分かりやすいものとするとともに、ICT\*による新たな媒体の活用も研究しながら、効果的な市政情報の発信に努めます。また、各種審議会やパブリックコメント\*等によって、市の施策決定における市民参加を推進します。

##### ◆ 市政情報発信充実事業 など

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
尾道市公式LINE登録者数	人	31,770	55,000

#### ② まちづくりの情報共有

まちづくりに関する情報を共有し、市民と市とが対等な立場で課題やその解決方法を一緒に考える環境を整えます。

##### ◆ 協働\*のまちづくり講座 など

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
協働のまちづくり講座参加者数	人	205	250

#### ③ まちづくり活動の担い手育成

市民を対象とした講座や、中心的役割を担う人材や活動団体への研修・ワークショップ等を通じ、地域を支える人材育成の取組を推進します。

##### ◆ 若者チャレンジ講座(再掲) など

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
若者チャレンジ講座の受講者及び聴講者数(累計)	人	938	1,600

#### ④ まちづくり活動団体の支援

自主的に組織した市民の団体が取り組むまちづくり活動を支援します。

##### ◆ 市民活動支援事業 など

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
市民活動支援事業の活動者数(累計)	人	2,789	3,700

政策分野 1

協働

施策目標

2

## 地域でまちづくりを行う仕組みが形成されている

### 現状と課題

地域コミュニティ※においては、人口減少や少子高齢化の進展、核家族化や単身世帯の増加等により、地域のつながりの希薄化が生じ、地域活動への参加者や担い手が減少するなど、地域課題は多様化・複雑化しています。

このような状況の中、地域社会を支えてきた町内会等の住民自治組織や市民活動団体等の各種団体の社会的役割は、ますます大きくなっています。これらの団体を中心とした地域におけるまちづくりを推進するために、活動の場づくり等を支援する仕組みや、知識・情報を共有する機会を設け、地域内外のつながりを強化するとともに、地域への誇りと愛着を持ち、自分たちが住む地域をより良くしたいという意識を高めていくことが必要です。

### 基本方針

- 地域住民の活動拠点となる施設の活用を進めるとともに、まちづくり活動を実践する場の創出を図ります。
- 地域での連帯意識や課題解決に取り組む自治意識の向上を図るため、住民自治組織や各種市民活動団体等の活動を支援します。
- 地域コミュニティにおける組織や機能の強化に必要な知識や情報を収集し、市民が広く共有できる体制づくりを促進します。



市民活動支援事業採択団体の活動「エコさんぽ～門田川の生き物調査」

## 施策

### 施策目標 2 地域でまちづくりを行う仕組みが形成されている

指標名	単位	基準値（令和2年度）	目標値（令和8年度）
市民満足度調査「地域コミュニティ※が良好に保たれている」と感じる市民の割合	%	46.0 (令和3年度)	50.0

#### 目標達成のための施策

##### ① 地域活動拠点の形成

コミュニティ活動が活発になるよう、活動場所の確保や市民と市または市民同士が話し合うための場づくりを推進します。

##### ◆ 協働※のまちづくり講座（再掲） など

指標名	単位	基準値（令和2年度）	目標値（令和8年度）
地域主催のまちづくり講座への講師派遣回数（累計）	回	12	45

##### ② 住民自治組織や市民活動団体等の活動支援

町内会等の住民自治組織や各種市民活動団体等がまちづくりを主体的に考え、活動していくための支援を行います。

##### ◆ 住民自治組織等活動支援事業

##### ◆ 市民活動支援事業（再掲） など

指標名	単位	基準値（令和2年度）	目標値（令和8年度）
市民活動支援事業の補助採択を受けた団体数（累計）	団体	49	85

##### ③ 情報共有の仕組みづくり

地域活動に必要な情報共有のための仕組みづくりを進めます。

##### ◆ 広報おのみち掲載（協働通信シリーズ）

##### ◆ 地域おこし協力隊員※による SNS※での情報発信 など

指標名	単位	基準値（令和2年度）	目標値（令和8年度）
まちづくり情報発信回数	回	12	80

政策分野 2

人権

施策目標

1

## 人権が尊重されている

### 現状と課題

すべての人々の人権が尊重され、互いに共存し得る平和で豊かな社会を実現するため尾道市人権啓発推進プランに基づき、市民や事業者に対して人権啓発に努めています。

国際化や情報化の進展、価値観の多様化等により、女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国人等に対する人権課題や同和問題、インターネットによる人権侵害に加え、性的マイノリティ（LGBT※等）への偏見や差別など、様々な人権課題が発生しています。

また、新型コロナウイルス感染症に関する感染者や医療従事者等への誹謗中傷等が社会的問題になっています。複雑化する人権課題に対する取組を推進するため、啓発方法や内容を工夫するなど、より効果的な人権啓発が求められています。

さらに、社会・経済のグローバル化が進む中、異文化を理解するとともに、文化の違いを尊重する多文化共生社会※の形成が求められています。これらのことから、人権尊重社会の早期実現に取り組み、すべての人が社会的・経済的・政治的に排除されず参画することができ、幸せに暮らすことができる社会をつくる必要があります。

### 基本方針

- 人権が共存する人権尊重社会を実現するため、多様な人権問題に対応する効果的な啓発を推進します。
- 誰もが、対等で、尊重され、受け入れられ、それぞれが持つ個性と能力を活かし合いながら、地域とともに生きていくため、多文化共生社会に対する理解を促進します。



「いのち・愛・おのみち」人権展

## 施策

### 施策目標 1 人権が尊重されている

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
市民満足度調査「一人ひとりの人権が尊重されている」と感じる市民の割合	%	49.6 (令和3年度)	60.0

#### 目標達成のための施策

##### ① 人権啓発の推進

学校、地域、職場等の様々な場を通じて、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるよう、効果的な人権啓発を推進します。

◆「いのち・愛・おのみち」人権啓発推進事業 **尾道オリジナル** など

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
人権講演会参加者数	人	410 【681(令和元年度)】	1,000

##### ② 多文化共生社会※の推進

国籍や、文化の違いを認め合い、市民と外国人がともに暮らしやすいまちづくりを推進します。

◆ 市政情報発信充実事業(再掲)  
◆ 国際交流推進事業(再掲) など

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
尾道市ホームページの対応言語(外国語)数	言語	4	8



「いのち・愛・おのみち」人権講演会

## 男女がともに認め合い、 支え合う社会が実現している

### 現状と課題

男女共同参画社会\*とは、「市民一人ひとりの人権が尊重され、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる」社会です。

本市では、男女共同参画社会の実現を目指し、尾道市男女共同参画基本計画を策定し、女性が政策決定の場や指導的立場へ進出するための具体的な支援や、誰もがともに安心して暮らせる環境の整備等の事業を展開しています。近年では、新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワーク\*の普及等により、ワーク・ライフ・バランス\*の実現や男性の家事・育児への参加促進等の取組が求められている一方で、DV\*被害の増加への対策が必要となっています。

男女共同参画社会に関する意識啓発を行うため、セミナーや講演会を開催していますが、参加者は比較的高齢の女性が多く、若者や男性への啓発に課題があるため、啓発方法や内容に工夫が必要です。また、事業者や団体等への情報提供や支援体制を充実させる必要があります。

### 基本方針

- 性別に関わらず、誰もが意欲に応じてあらゆる分野で活躍するため、男女共同参画社会の実現に向けた環境整備に努めます。



男女共同参画講演会

## 施策

### 施策目標 2 男女がともに認め合い、支え合う社会が実現している

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
市民満足度調査「男女共同参画が進んでいる」と感じる市民の割合	%	37.7 (令和3年度)	50.0

#### 目標達成のための施策

#### ① 男女共同参画社会<sup>\*</sup>の推進

尾道市男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画社会の実現に向けて、市民、事業所等と一体となって取り組めます。また、尾道市男女共同参画基本計画の進行管理を行い、庁内全体で事業を推進します。

- ◆ 男女共同参画推進啓発事業
- ◆ 女性団体等のネットワーク構築事業 など

指標名	単位	基準値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
審議会等委員の女性の占める割合	%	27.7	35.0

#### ② 女性・高齢者・障害のある人等の活躍の促進(再掲)

#### ③ 魅力ある働きやすい職場づくりの促進(再掲)



男女共同参画まちづくり講座